

平成30年 掛川市議会 議会報告会

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 出席議員紹介

4 議会報告

報 告 日本一防災意識の高いまち掛川を目指すための提言について
(報告)

テーマ 常任委員会の取り組みについて

・ 総務委員会の取り組みについて (報告、質疑・意見交換)

・ 環境産業委員会の取り組みについて (報告、質疑・意見交換)

・ 文教厚生委員会の取り組みについて (報告、質疑・意見交換)

5 その他・意見交換

6 アンケート記入

7 閉 会

2017年の議会報告会からの 政策提言に対しての実施報告



2018年の災害

6月 大阪府北部地震



9月 北海道胆振東部地震



7月 西日本豪雨（平成30年7月豪雨）



国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所 提供

10月 平成30年台風24号



2017年掛川市議会政策提言に対しての2018年実施施策

1 市民の防災意識の向上について

家庭の避難計画に基づいた行動が取れるよう 啓発を強化するとともに、避難訓練を実施すること。



施策実施状況

想定しうる河川決壊した場合の浸水域を記したハザードマップを新規作成し関係する地域に順次配布をしています。市民の皆様により高い防災意識をもって頂き水害の避難方法、避難場所を検討にご活用頂けたらと思います。

2 災害情報の収集について

地元住民が危険と判断する場所に、河川の水位センサー（カメラ付き）の増設を検討すること。

施策実施状況

「中東遠地域豪雨災害減災協議会」を組織しています。この中で、平成29年度から5年間で水位周知河川候補16河川に水位計を順次設置していくこととなっており、掛川市では神代地川が対象となっています。また、水位計設置済み河川には、監視カメラを設置の予定で、掛川市では、原野谷川、倉真川が候補となりました。

3 災害時の情報収集が容易に、かつ正確に出来るようタブレット端末やドローン等、
I C T機器の導入を検討すること。



施策実施状況

議会でのタブレット導入の検討が2018年度から始まりました。主には議会運営委員会でタブレット導入の検討がされていますが、8月21日の議員研修会では先進的にタブレット導入をしている袋井市の議会事務局から担当職員、そして全国の議会に導入をされているシステム会社担当に「議会におけるのタブレット導入」の説明を受けました。

ドローン導入に関しては、株式会社BCテクノロジーから行政職員への普及目的と多目的ではあるが災害対策に関しても使用ができるドローンが寄贈され職員操縦士の育成も視野に入れています。そして、本年8月、掛川市は市内ドローンスクールとの災害対策を含む協定締結をしました。

さらに防災対策を行い市民の生命・財産を守る為に、
2018年度「防災意識向上特別委員会」を設置。

掛川市議会
BCPの策定

市民の命を守る
災害時の初動対策強化

BCPとは？？？

BCPはBusiness Continuity Planの略で、災害などリスクが発生したとき、重要業務への影響を最小限に抑え、速やかに復旧・再開できるようにしておく行動計画のこと。

掛川市議会BCPのポイント

①安否確認

⇒ 基本的には市の防災メール返信。LINEやWeb171等の代替通信手段を取り決める。

②議長が欠けたとき

⇒ 議長が発動困難な場合の代理者が行う。
1.副議長2.議会運営委員長3.総務委員長・・・

③災害対策会議の設置

⇒ 災害対策会議を通じて市本部に情報を提供する。

④議会の防災訓練

⇒ 実行性を高めるために、防災訓練を適宜実施する。

災害時の初動は市民・事業者・行政それぞれが常に災害を意識すること！！

岩手県陸前高田市武藏様の語り部

・何百年前にも大きな災害を経験しているが、反省が活かされていない。

災害は人ごと。人はすぐに忘れてしまう。

そうだ！

常に災害を我が事として考えられるように、日頃から防災のお知らせを市民に伝えよう！！

- ・ イベント前に避難場所の確認
- ・ 会社始業前の防災役割確認
- ・ お買い物先での避難路の確認

掛川市全体で取り組みば、防災意識 ↑



ご清聴ありがとうございました。
ご来場者様アンケートをもとに
より良い政策提言に繋げていきます。
ご記入よろしく願いいたします



平成30年度議会報告会

総務委員会調査研究状況報告

掛川市の都市づくりと 地区自治組織のあり方について



掛川市の都市づくり

掛川市都市計画マスタープランとは……

掛川市の都市計画に関する基本的な方針で、市が行う都市計画や都市づくりの最も基本的な考え方を示したもの

上位計画

市総合計画
など

即す

掛川市都市計画マスタープラン

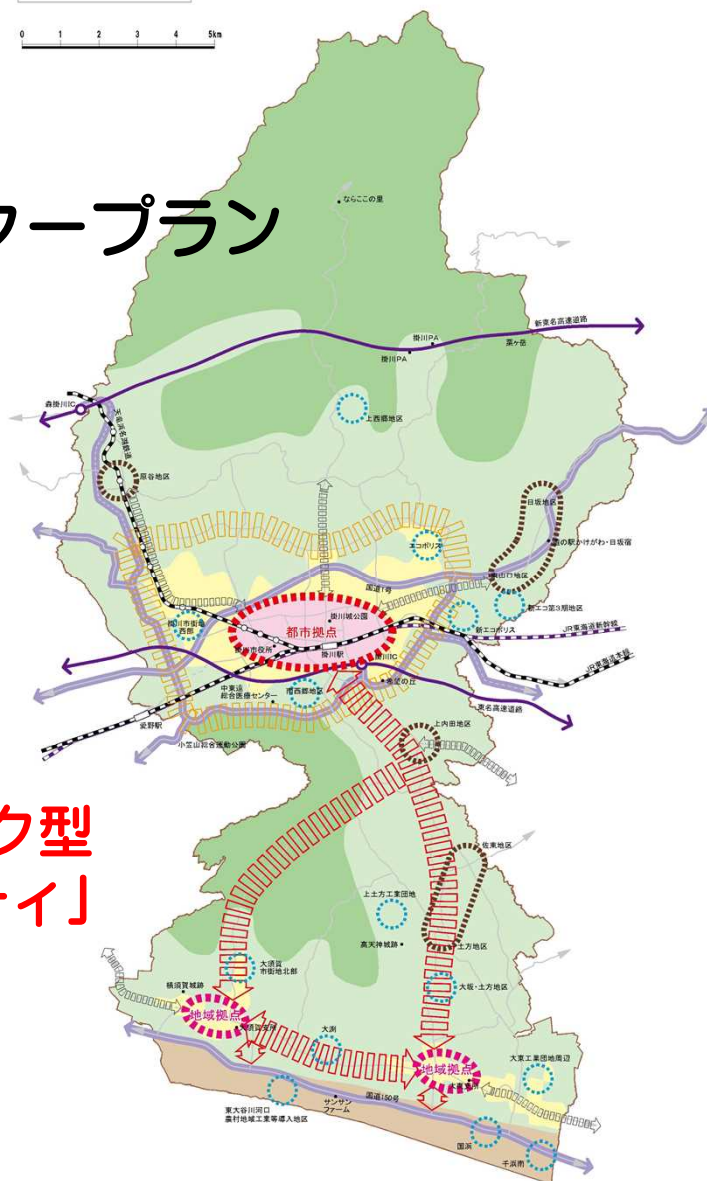
掛川市立地適正化計画

連携
整合

関連計画

住宅
交通
公共施設
中心市街地活性化
など

「多極ネットワーク型 コンパクトシティ」



凡 例		
ゾ ー ン		中心市街地ゾーン
		市街地ゾーン
		農業環境ゾーン
		森林環境ゾーン
		海浜環境ゾーン
拠 点		都市拠点
		地域拠点
		地域生活拠点
		産業拠点
都 市 軸		国土軸（道路）
		国土軸（鉄道）
		広域都市連携・交流軸（道路）
		広域都市連携・交流軸（鉄道）
		市街地連携・交流軸
		市街地環状軸
		地域連携・交流軸
 主要な道路		

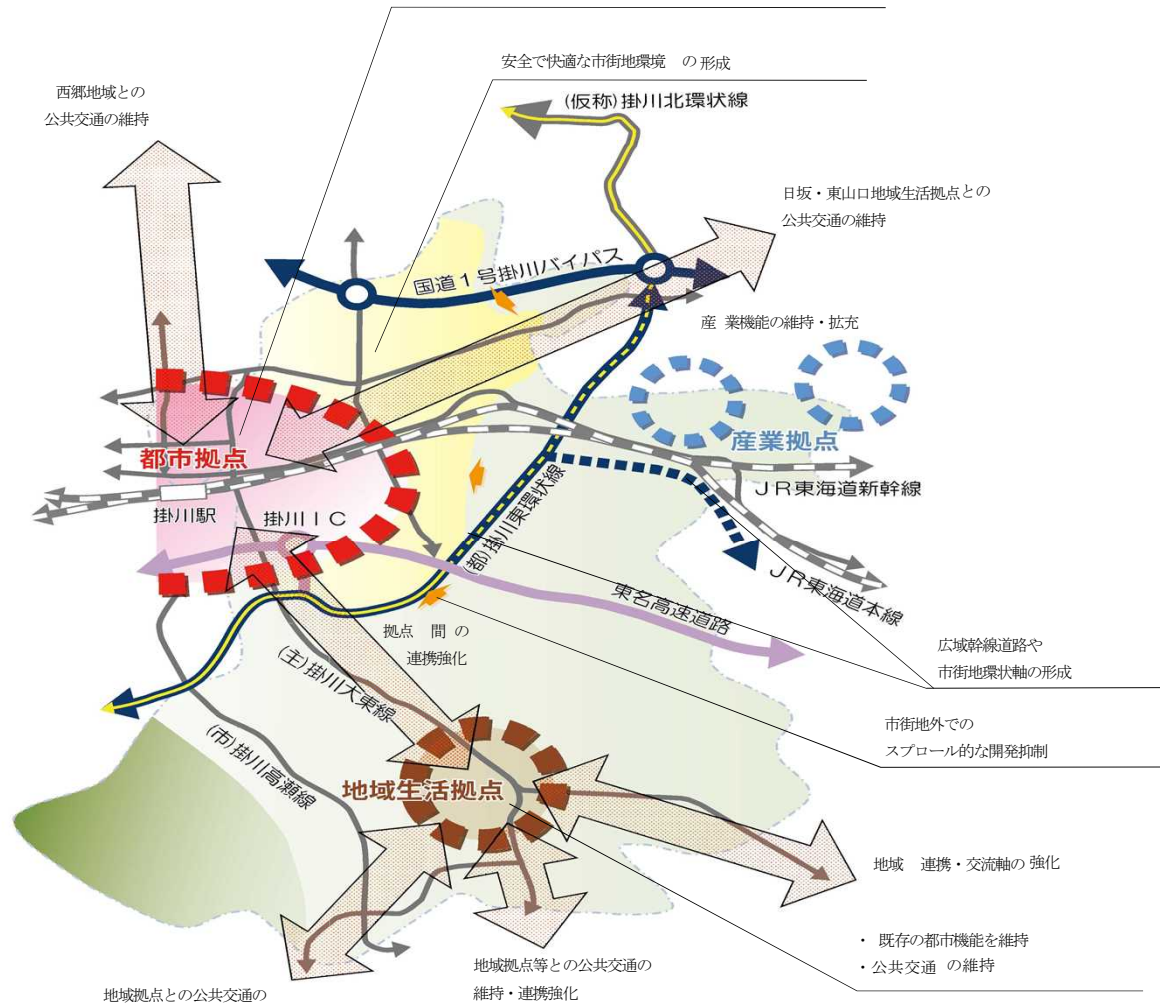
東中学校区

豊かな自然と城下町文化を活かしながら、安全・安心・にぎわいのある生活と交流を生むまちづくり

- ・都市機能の集積と都市型住宅の立地誘導
- ・掛川市の玄関口として機能の拡充
- ・歴史と文化が薫る個性的な市街地の形成

対象地区

掛川第一
掛川第二
南郷
上内田
西山口

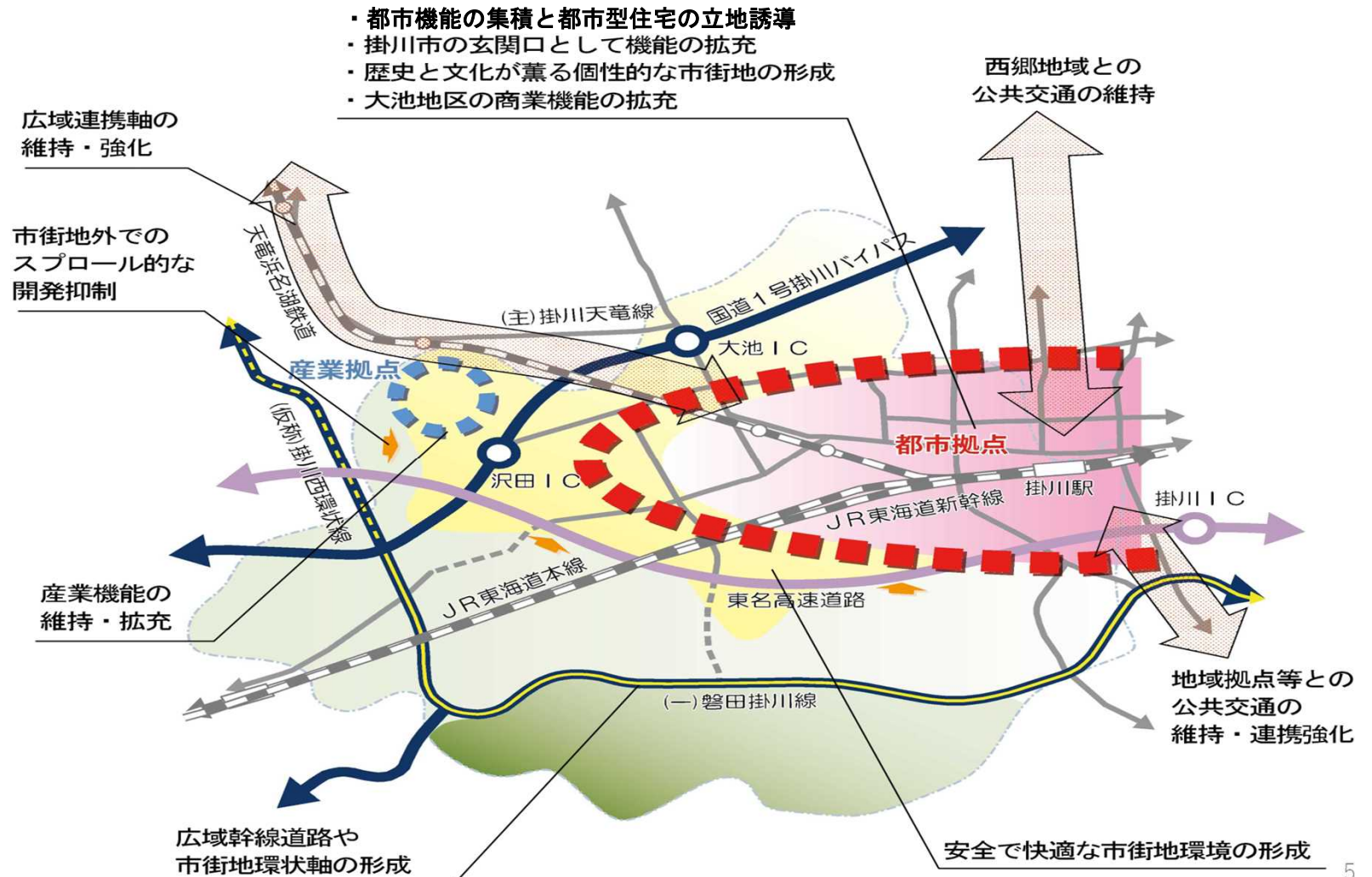


西中学校区

自然環境や歴史・文化と調和・共生した 安全・安心で活力あるまちづくり

対象地区

掛川第三
掛川第四
掛川第五
西南郷
曾 我

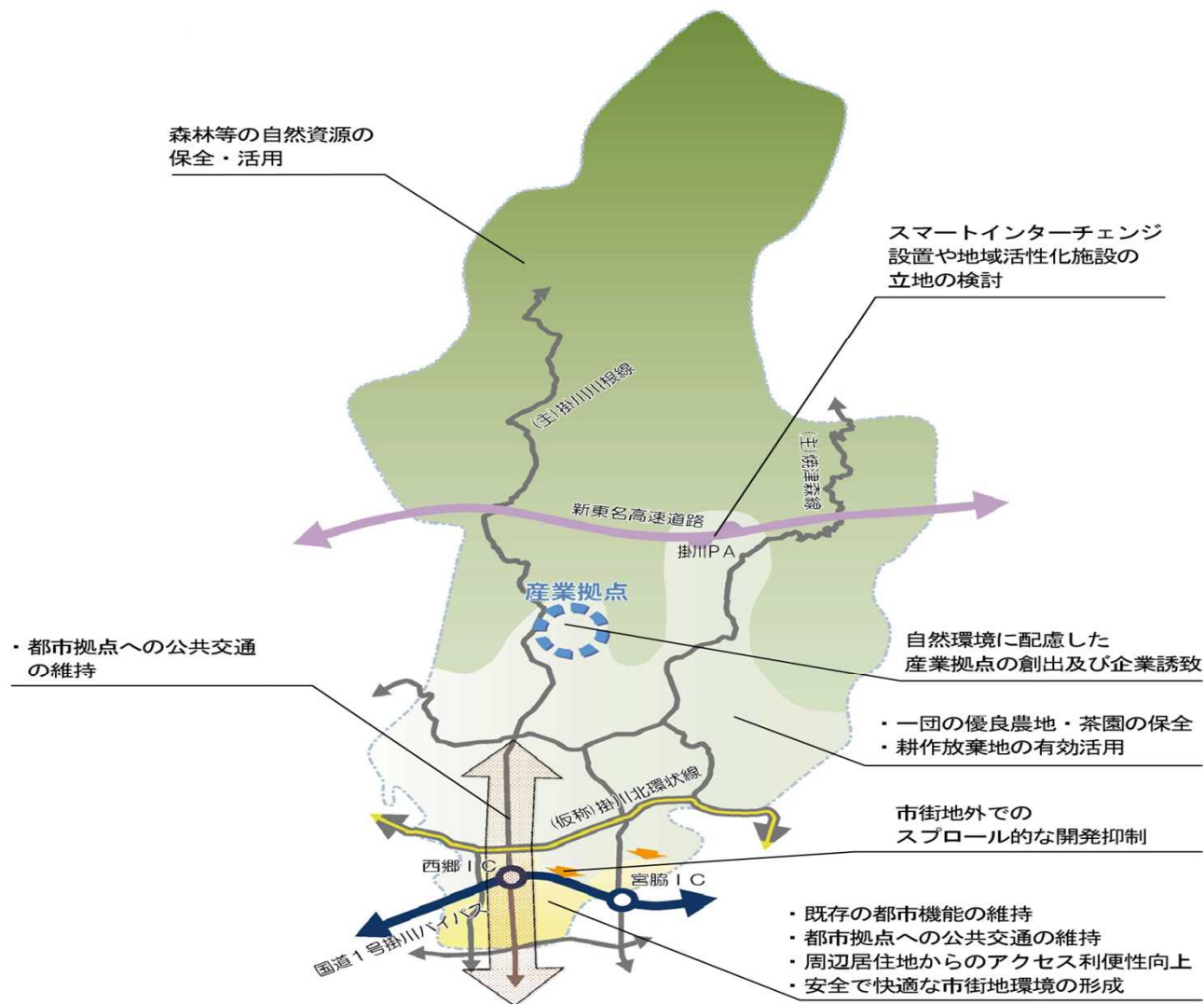


北中学校区

森・川・里・田園・都市（まち）が連なる中で、安らかな心と豊かな生活の営みを育むまちづくり

対象地区

城 北
栗 本
倉 真
西 郷
原 泉

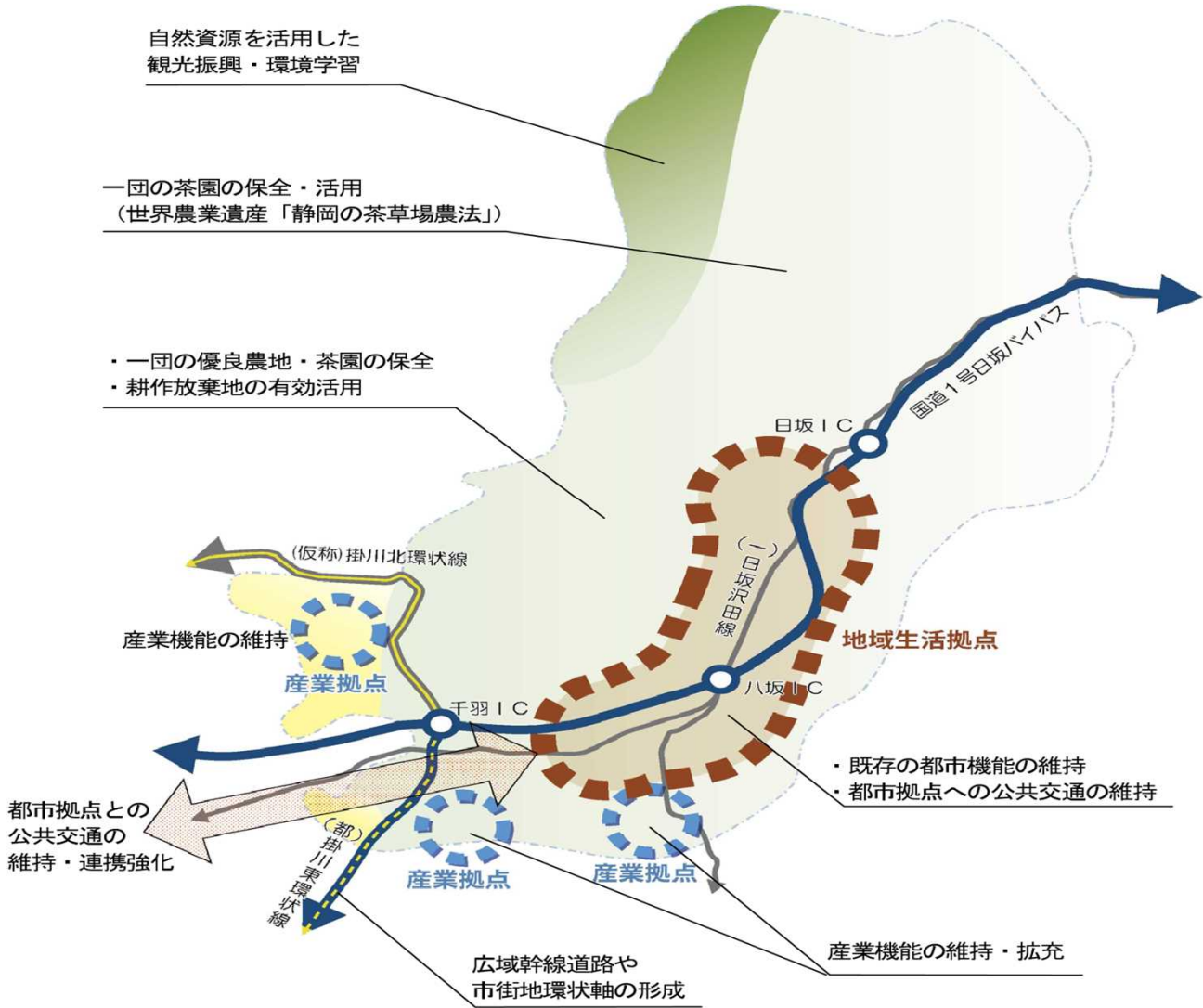


栄川中学校区

誇りある緑豊かな 自然と歴史・文化を大切にしながら、人や地域の「絆」を醸成するまちづくり

対象地区

東山口
日坂
日東山

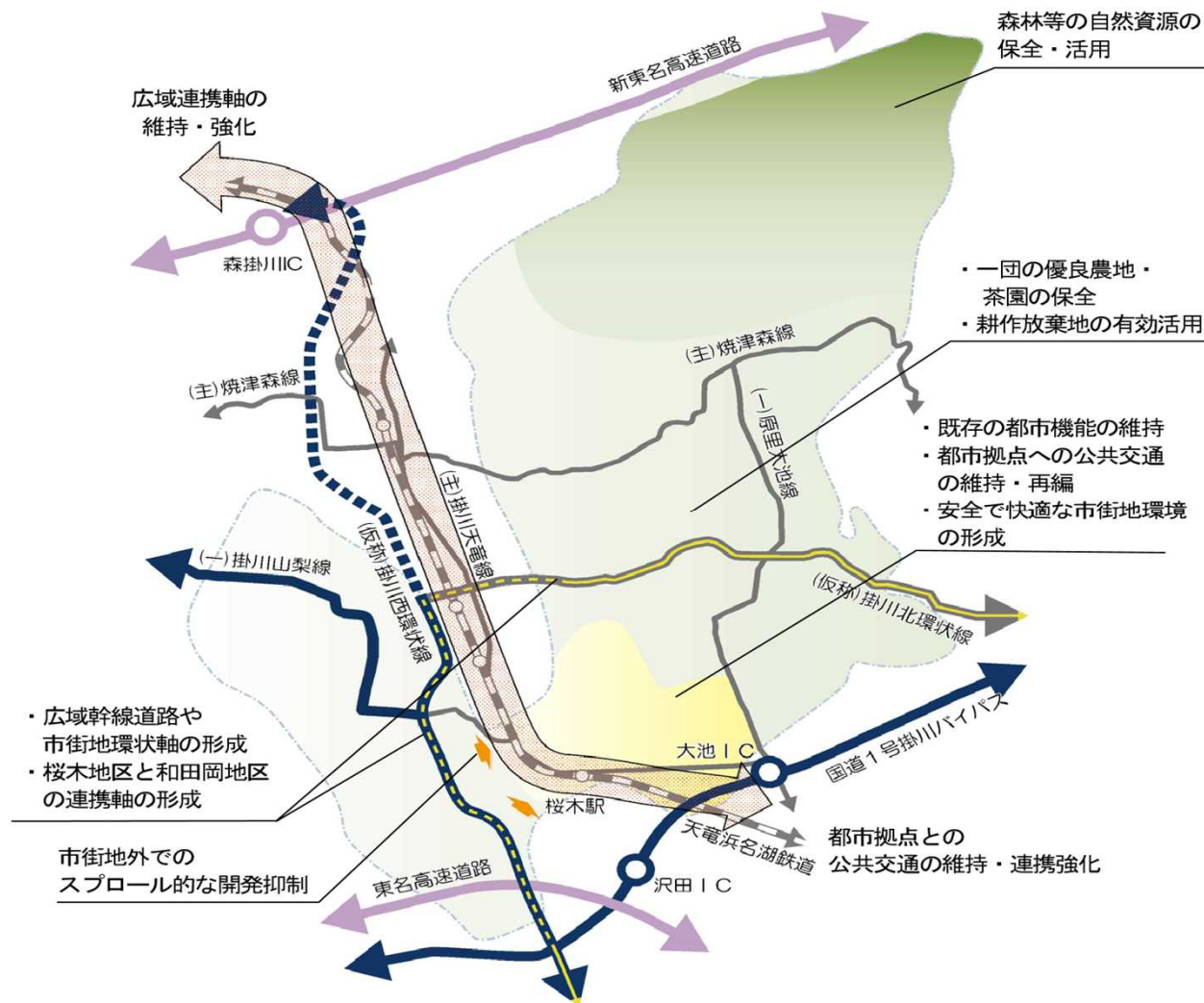


桜が丘中学校区

里山や田園の豊かな緑にうるおいと喜びを感じ、 利便性と安全性を兼ね備えた生活環境を創造するまちづくり

对象地区

桜木
和田岡

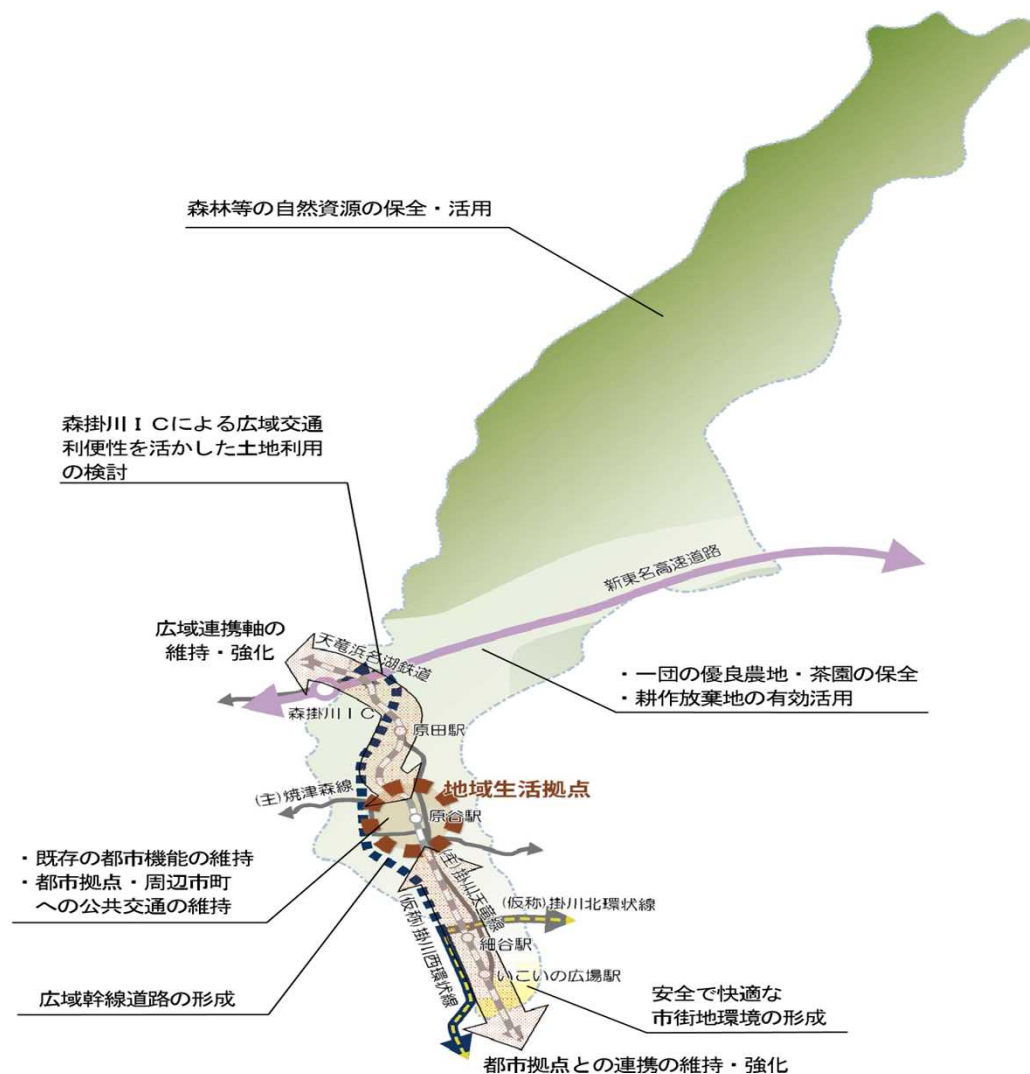


原野谷中学校区

原野谷の美しい緑と水が自慢、原野谷の温かい人柄が自慢、豊かな自然と人の心が融合した「ふるさと」のまちづくり

対象地区

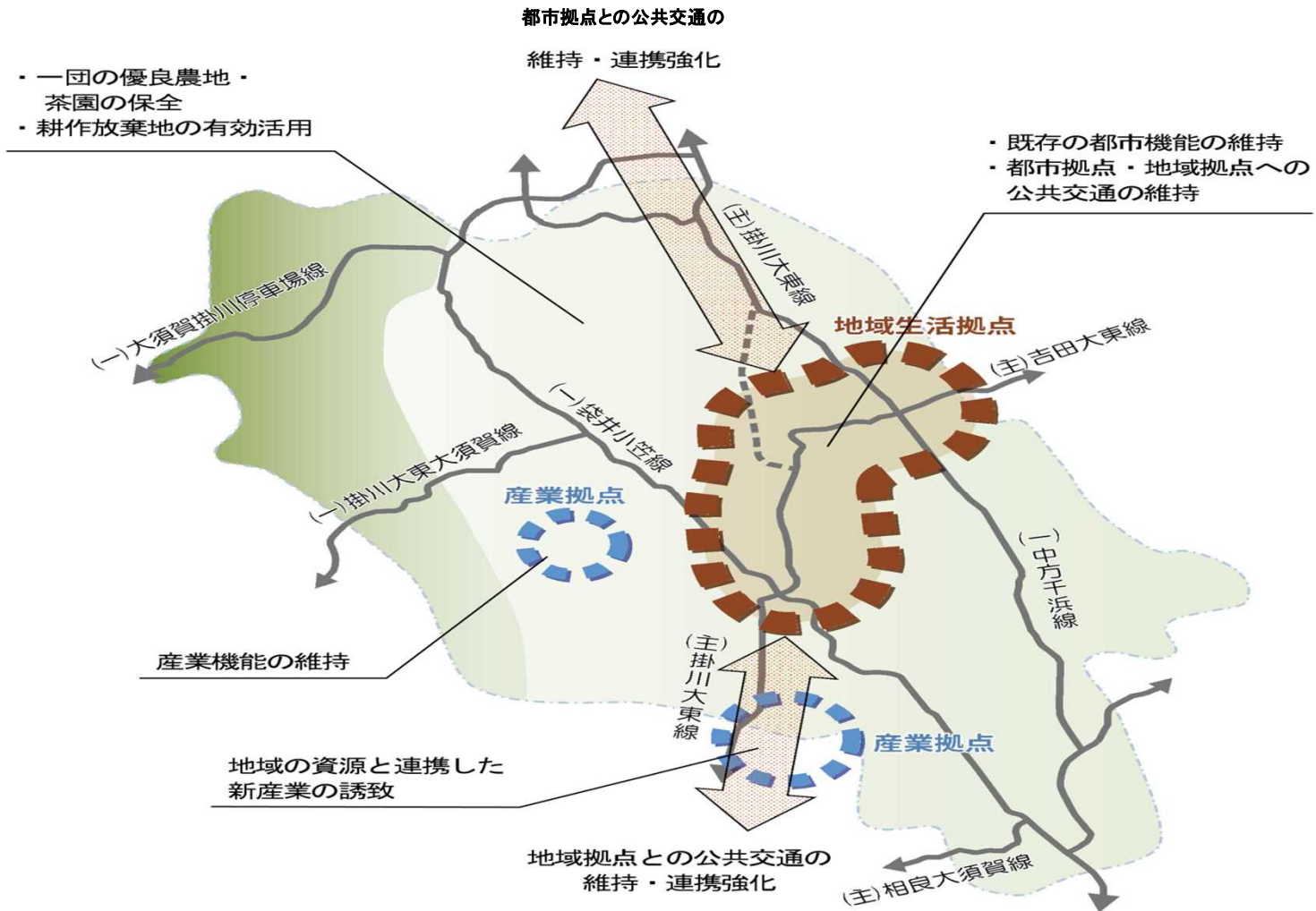
原 谷
原 田



城東中学校区

小笠山の緑と高天神の歴史・文化を活かしながら、安全・安心・快適に生活することができるまちづくり

対象地区
土 方
佐 東
中

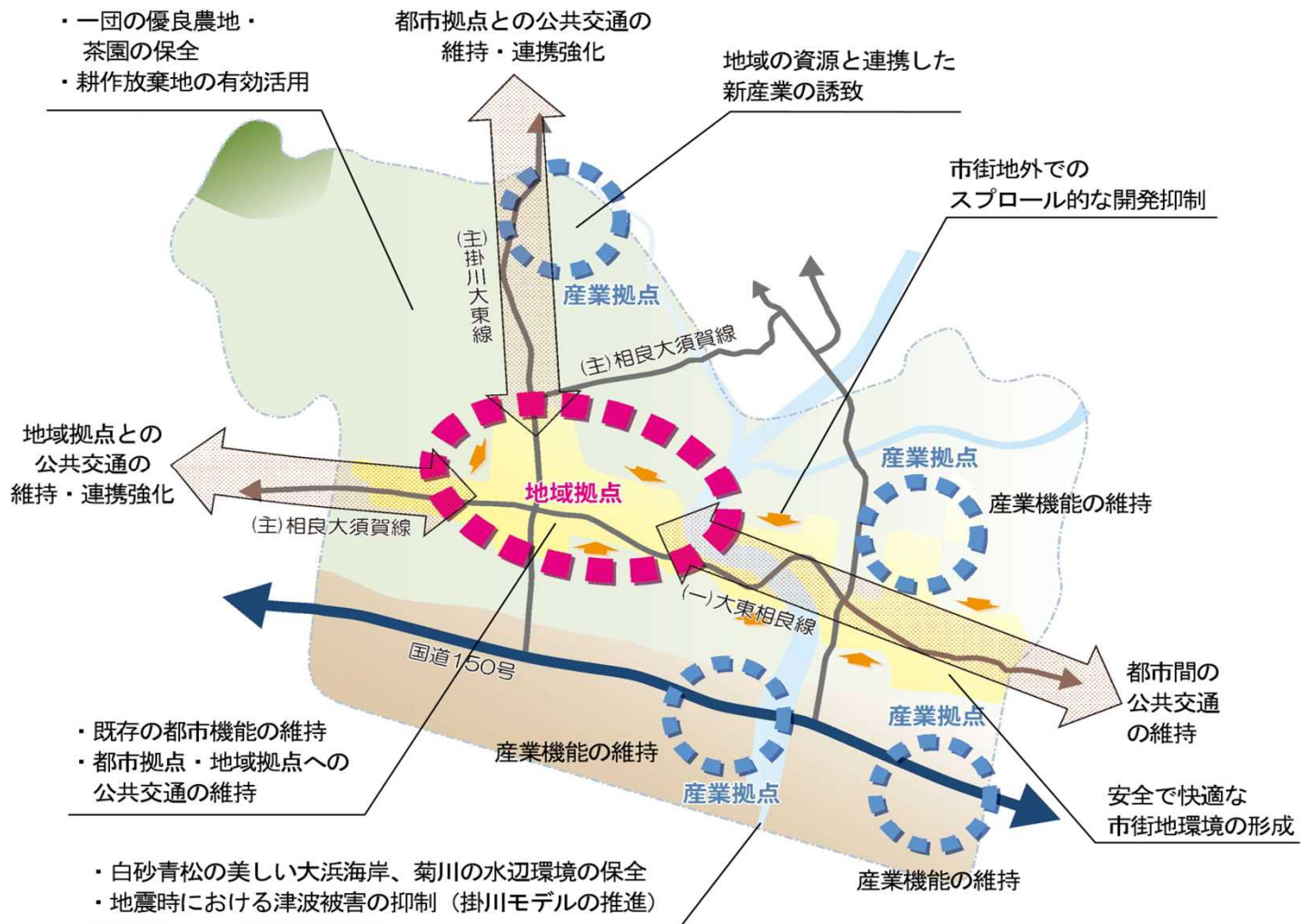


大浜中学校区

白砂青松の海岸風景と緑豊かな田園風景に調和し、ゆとり・うるおいのある生活環境を創るまちづくり

対象地区

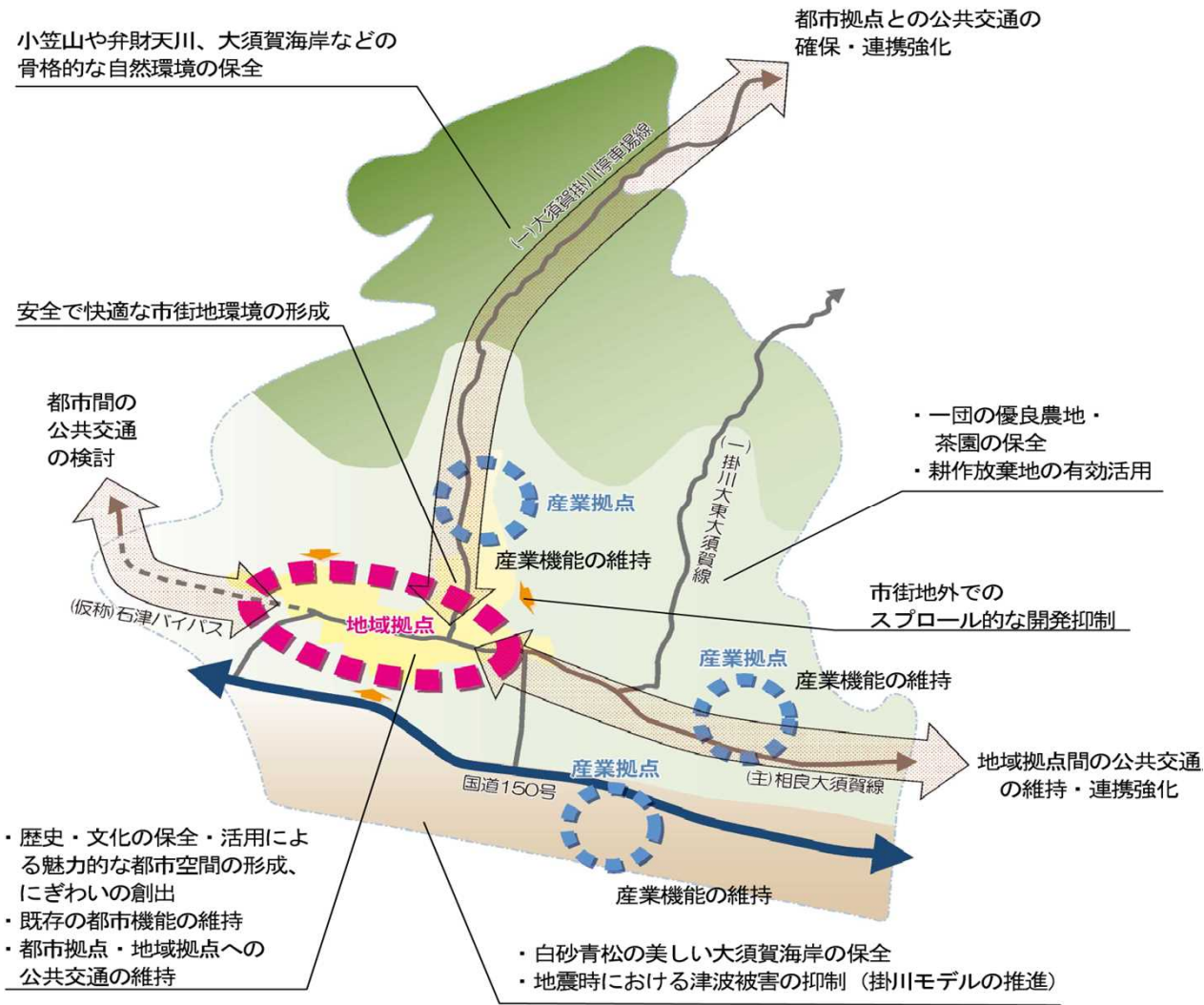
浜坂 千睦大



大須賀中学校区

海岸・里山・田園の豊かな自然を守り育み、安全・安心な暮らしと誇りある歴史・文化を支える人づくりとまちづくり

対象地区
大須賀第一
大須賀第二
大須賀第三
大 湊



合併後の地域自治組織

区域	地区	区	小区	組
掛川区域	23	145	60	2233
大東区域	6	17	21	391
大須賀区域	4	42	-	249
計	33	204	81	2873

例
例

桜木地区
大淵地区

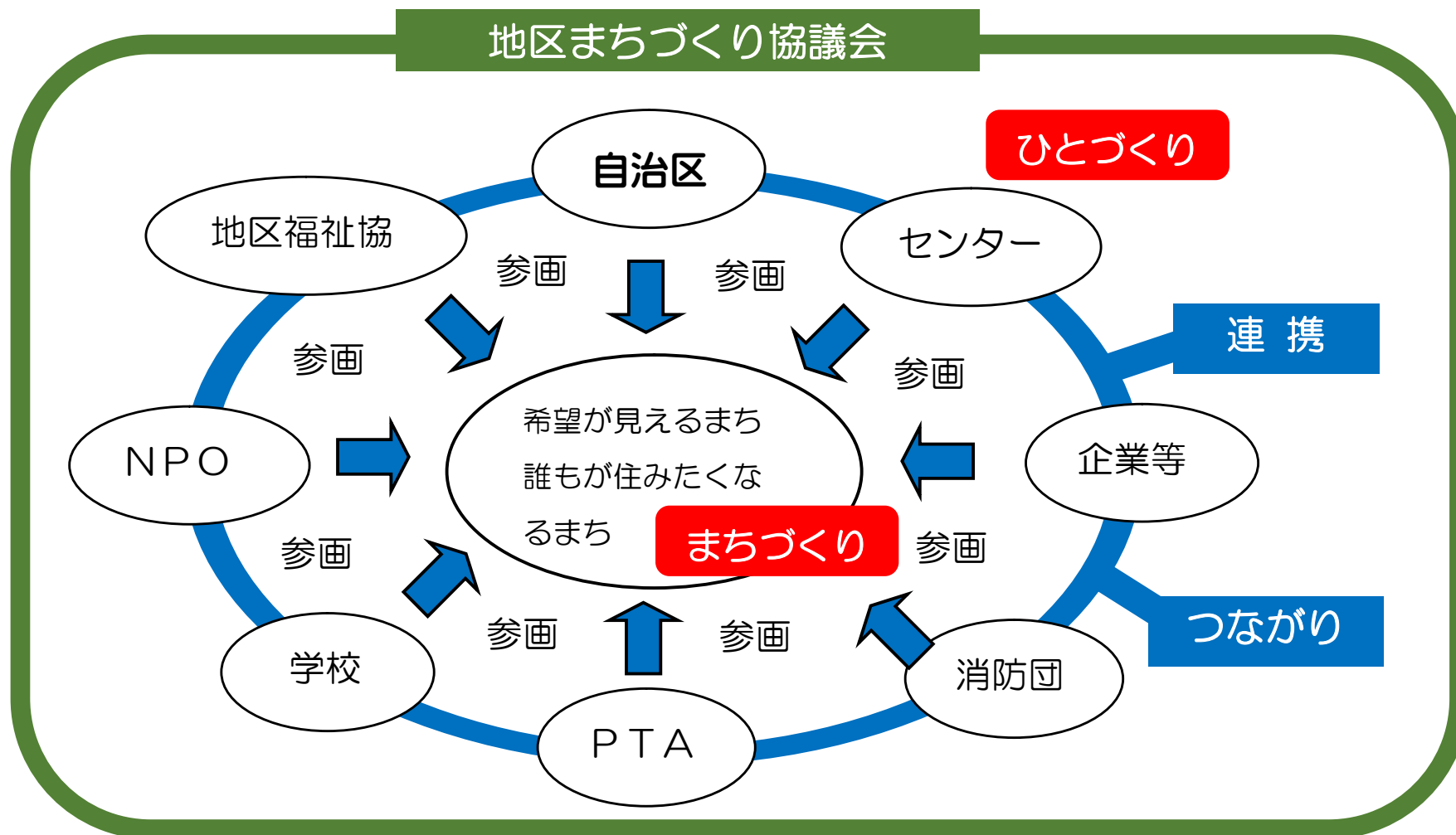
上垂木区
新井区

知山小区
-

山中組
前組

※小区は18の区に所在

現在、市が示している「まちづくり組織」の姿



※ 多様な団体・個人で構成されている

現在の地区組織には課題が……

地区区長会
地区まちづくり協議会
地区福祉協議会
地域生涯学習(地区)センター

4つの組織が並立

- 組織が複雑で住民にわかりにくい
- 役員が重複し、一部の人が忙しすぎる
- 組織間の連携、分担等が図りにくい

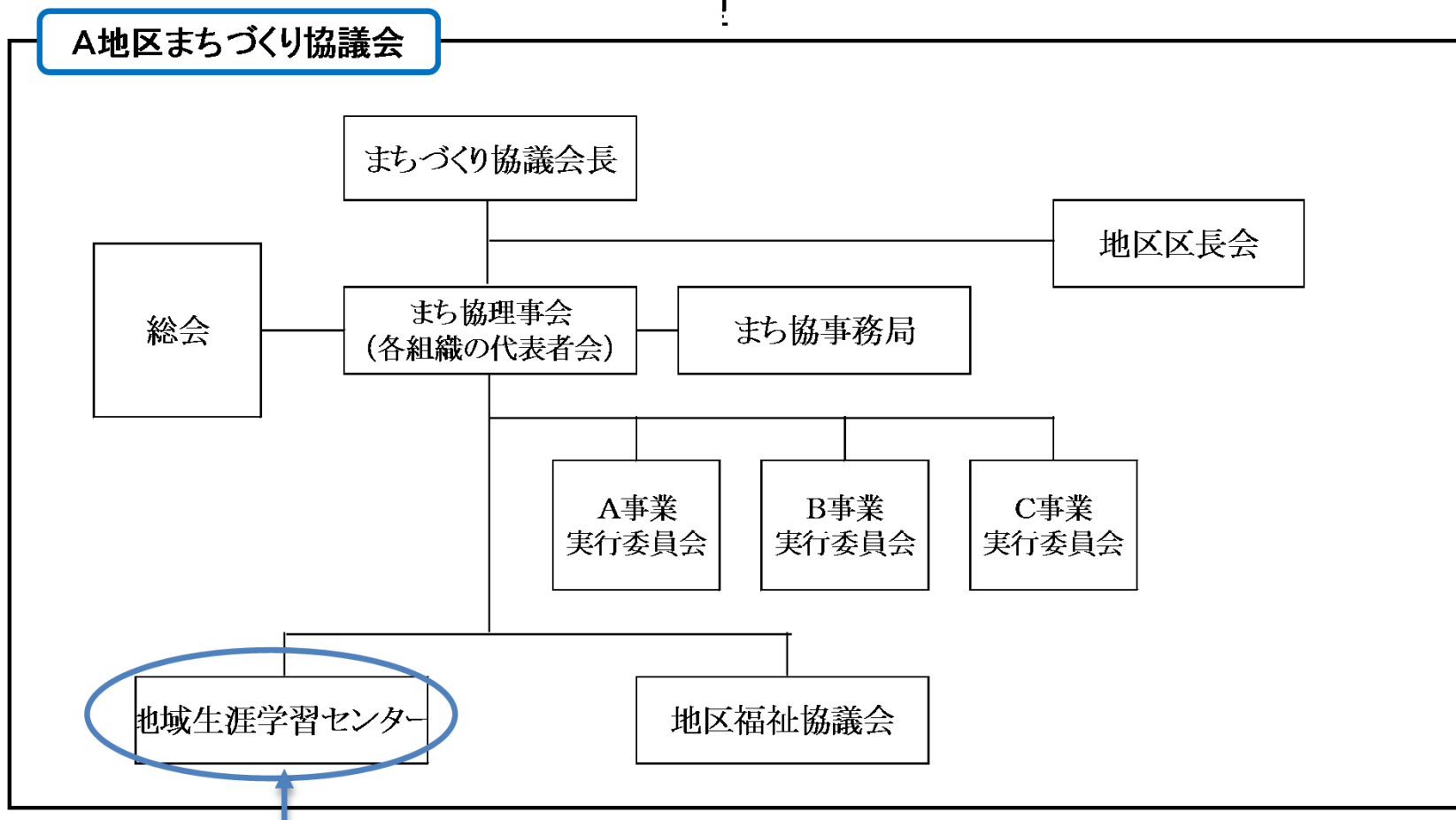


地域自治組織としての総合的機能が果たしにくい



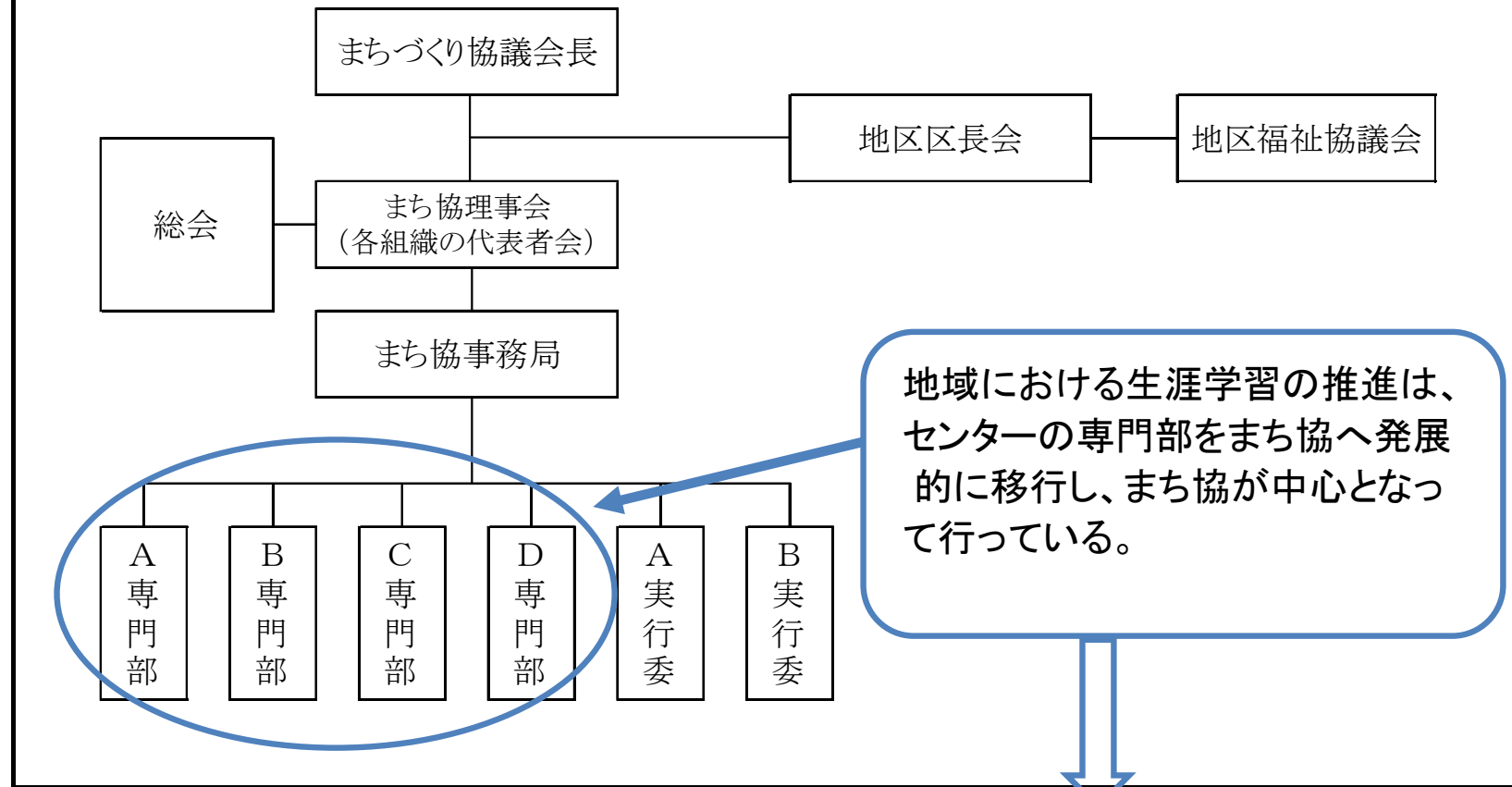
市が示している地区組織の方向(類型)

A 共存型



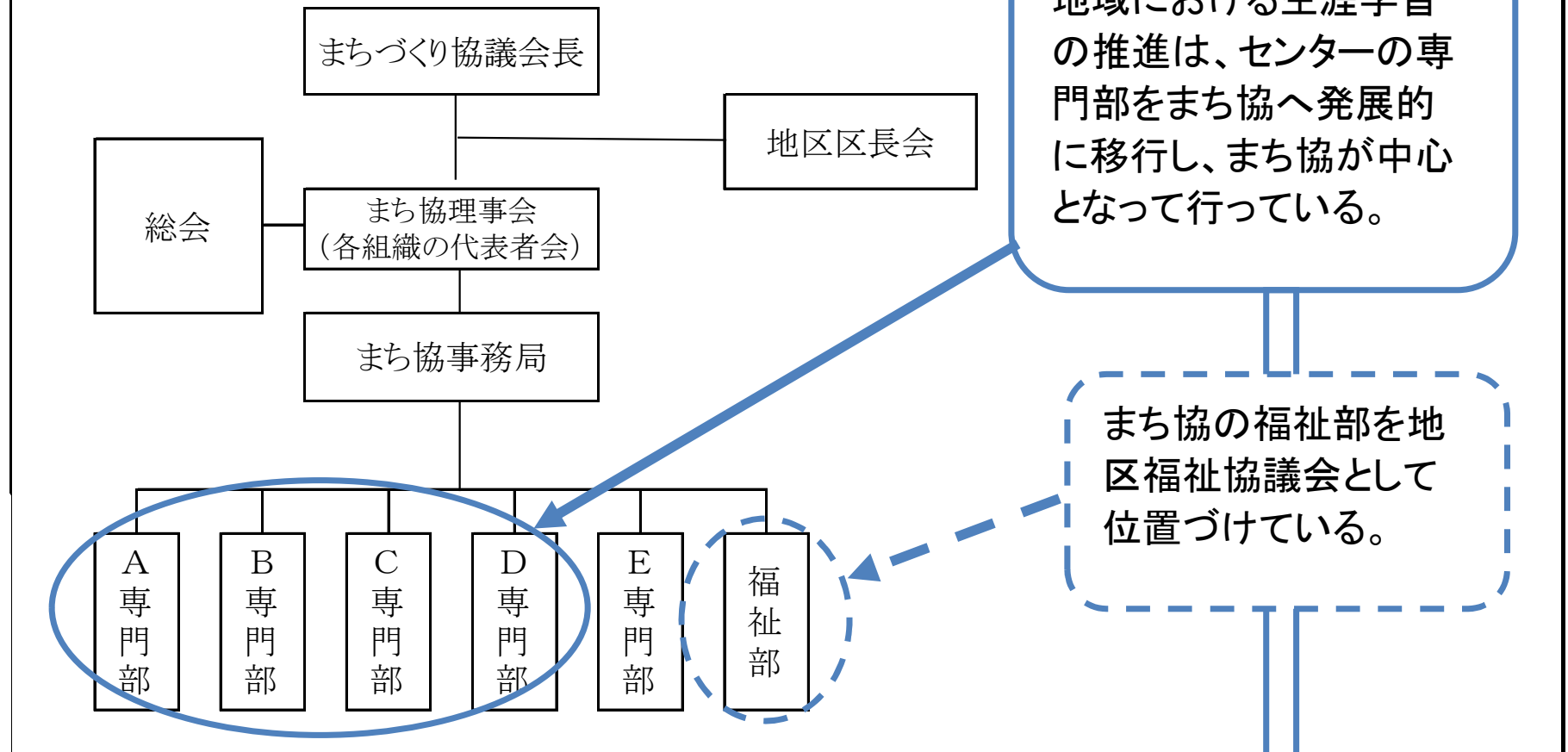
B 融合一体型

B地区まちづくり協議会



C 融合一体型

C地区まちづくり協議



課題整理のポイント

最終形・・・地区内すべての組織統合が望ましい
↳ 「地区」について定めることが必要

○地区は、「自治体」(掛川市自治基本条例第24条第2項)

○地区まちづくり協議会は、「地区の役所組織」

(掛川市協働によるまちづくり推進条例第8条第2項)

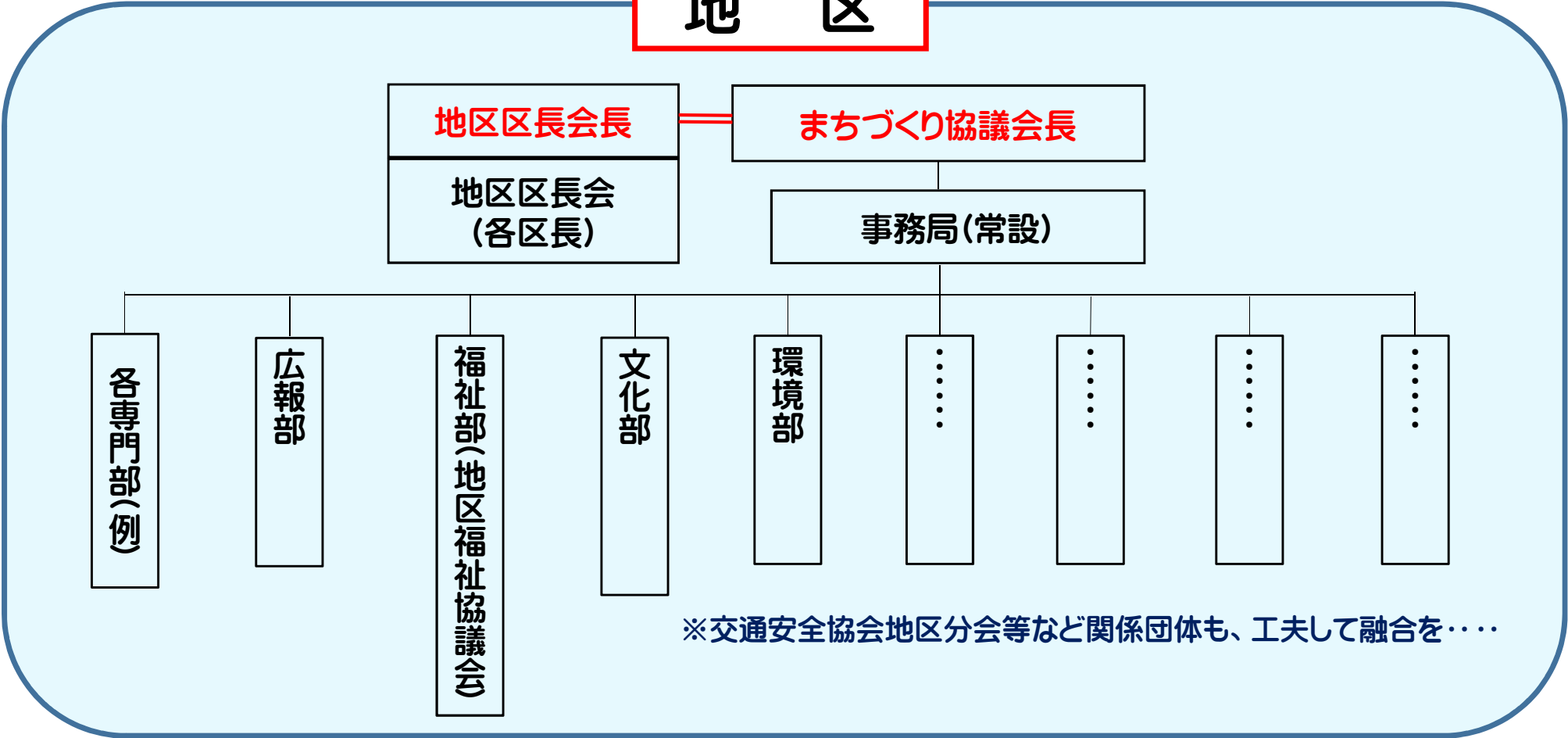
地区規約のなかに、地区区長会、まちづくり協議会も位置づけ定めれば良い

(例) 第一章総則=区域・構成員・直接参加制等、第二章=地区区長会、第三章=地区まちづくり協議会…… 等)

組織は簡素に

まちづくり協議会
(地区の役所)の組織例

地区



役員選任にも工夫を

- 地区区長会長＝まちづくり協議会(地区役所)の長 が自然
→区長は、区の代表→地区内の区長から信任を受けた区長会長が、地区の代表

現在15地区が兼任

- まちづくり協議会の委員・役員は、
まち協組織の実情に応じ、各区に依頼し選出・選任
- 区役員の兼任は極力避ける
- 事務局の充実強化で、組織活動の継続性確保
→協議会長(地区区長会長)の任期という課題などをクリア



運営にも工夫を

○まち協の”総会”は、できる限り幅広い地区民で

→構成員(例) まちづくり協議会長(地区区長会長)
+ 各区長 + 区役員 + 組長等々
+ 事務局長 + 事務局員 + 各専門部長 + 専門部員(各区選出)

○役員会(執行調整会議)は定期的に (地区区長会との同日開催が合理的)

→構成員(例) まちづくり協議会長(地区区長会長)
+ 各区長
+ 事務局長 + 事務局員
+ 各専門部長

○専門部の会議は必要に応じ随時

→構成員(例) 専門部長 + 専門部員 + 事務局員(当該専門部担当者)

○事務局の充実で、地区区長会長・専門部の負担軽減を

→有償の事務局長 + 事務局員を増員



今後の検討事項

- 標準的な「**地区規約案**」を示すべきではないか
- 具体的な**組織づくり**の検討と進め方
- 各地区の実状に応じた「**地区交付金制度のあり方**」
……など



※年度末の具体的な政策提言に向け、議論を深めていきます

ご清聴ありがとうございました





2018年度 議会報告

環境産業委員会

2018年度テーマ
掛川の森の在り方や活用方法を考えた
再生可能エネルギー

地球全体の環境 について



パリ協定

- ・ 2020年以降、地球温暖化を防止するために、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を
実質ゼロにすることを世界で目標とする。

(COP21)



具体的な目標

- ・ 世界の平均気温の上昇を産業革命以前と
比較して2℃未満に抑えることです。

第2期掛川市環境基本計画

(2016～2025)

再生可能エネルギーの割合目標

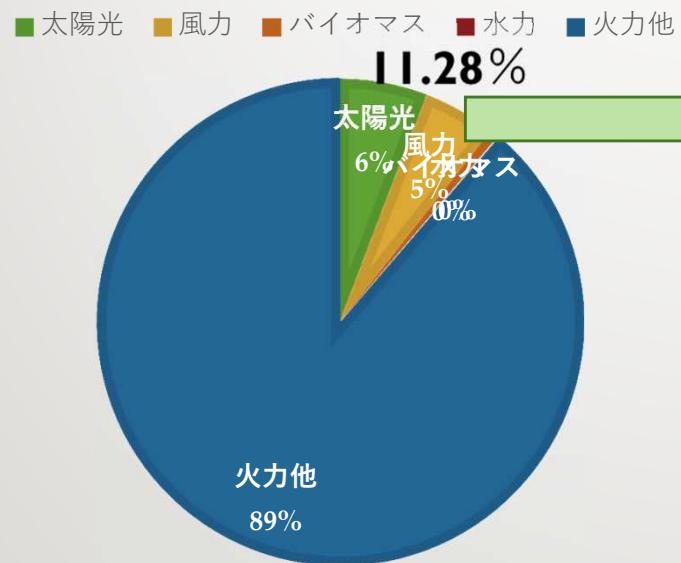
2025までに11.0%



そして、2018年度には目標値を達成する見込み

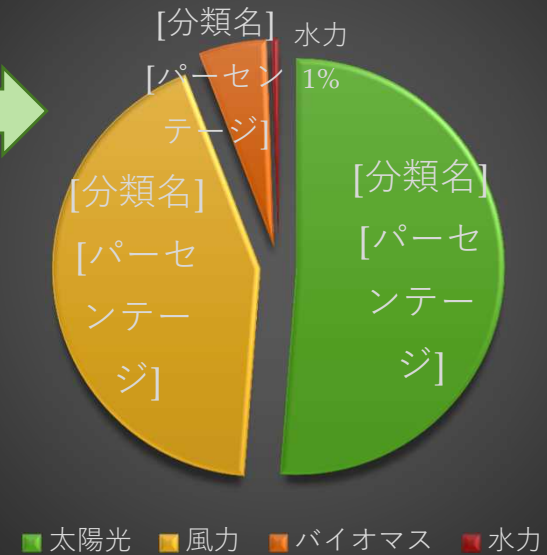
2018年度末
再生可能エネルギーが市内電力
需要量に占める割合**11.28%**

電力需要量



再生可能エネルギー種類別割合

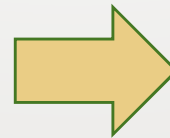
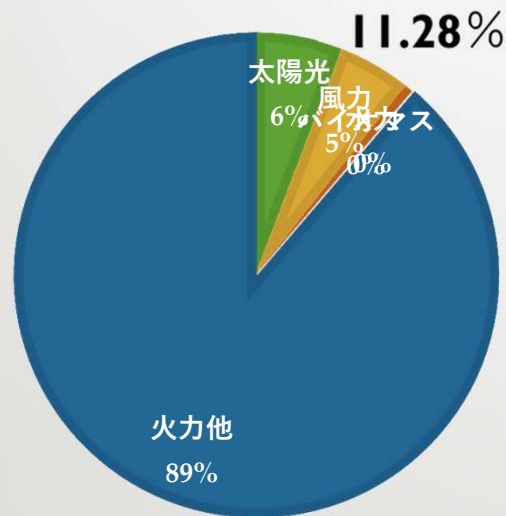
再生可能エネルギー



2030年度の再生可能エネルギーの目標値 市内電力需給量の22.30%(環境政策課にて協議中)

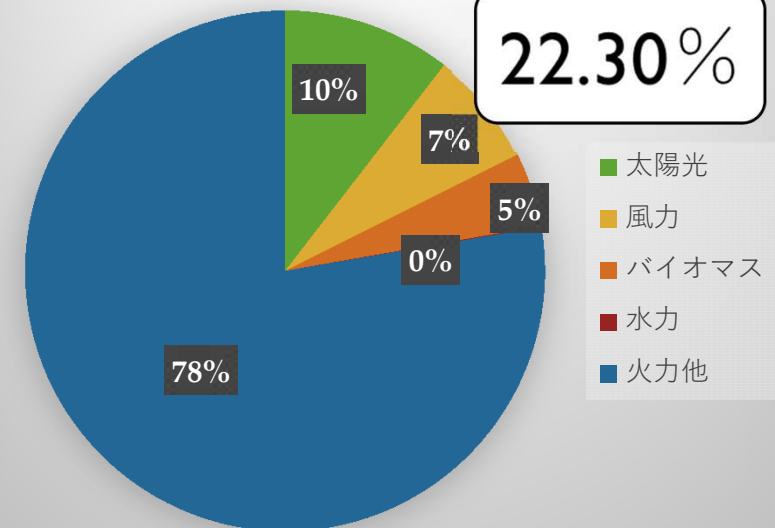
電力需要量2018

■ 太陽光 ■ 風力 ■ バイオマス ■ 水力 ■ 火力他



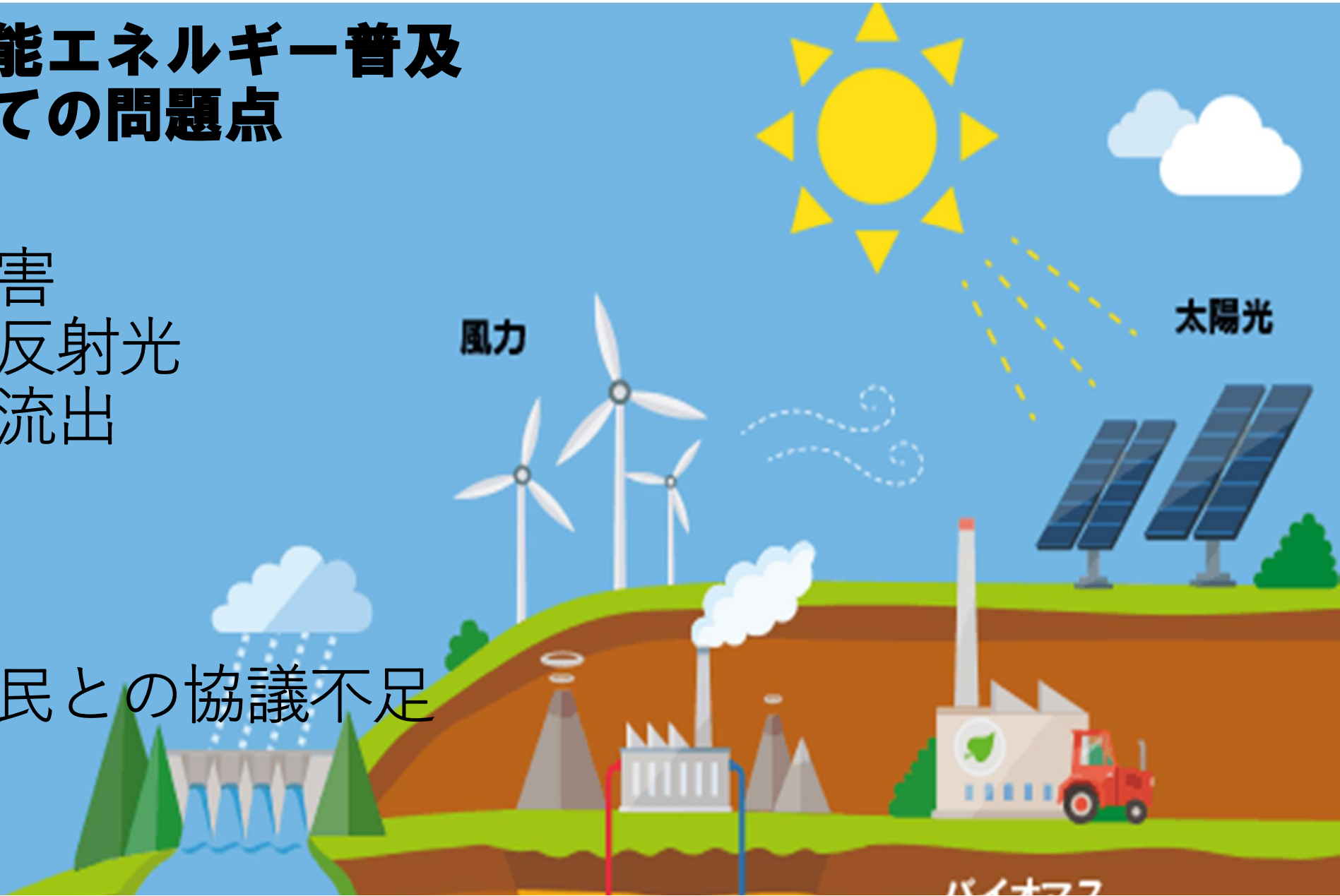
電力需要量2030

22.30%



再生可能エネルギー普及 に対しての問題点

- ・ 景観阻害
- ・ パネル反射光
- ・ 雨水の流出
- ・ 騒音
- ・ かげ
- ・ におい
- ・ 周辺住民との協議不足



**環境産業委員会
は考えます**

今後、掛川市の
環境政策、
再生可能エネルギー
をどのように
推進するべきか？

・掛川市内現地調査

・先進地調査

・農業委員会との討論・意見交換会

・再生可能エネルギー普及・研究

掛川市内現地調査

営農型発電設備調査

作物を栽培しながら太陽光発電

現行では8割の収穫量が条件

現状 作物：みょうが、水稻、柿、千両
地区：家代、五明、下垂木、上垂木
上内田、各和、伊達方、大坂

課題 栽培作物が限定
収量判定など基準の設定

考察 作物の収益と太陽光発電の
収益が得られる。



掛川市内現地調査

大渕・沖之須太陽光発電所 (沖之須)

現状 発電容量 17,955KW
一般家庭 5,400世帯分

考察 静岡県、掛川市、事業者が
協定を結び、海岸沿いの
土地に太陽光発電設置
時間をかけ話し合い成功例



先進地調査 北海道庁

北海道バイオマス構想

現状・木質その他酪農・糞尿使用

- ・北海道で創られた電気を本州へ
- ・ネットワークを作り研究・推進

課題 燃料を海外から購入

考察 資源が豊富な北海道でも燃料が足りない
果たして掛川でバイオマス発電は
出来るだろうか？



先進地調査 北海道北見市

オホーツク木のプラザ

木質産業活性化・バイオマス

現状・木育の推進

- ・木質バイオ、ペレットも課題山積

課題 ペレットボイラーの普及

考察 木のぬくもりが感じられる空間は
掛川にも必要

掛川的好立地の交通網を利用し

ペレット工場など誘致できないか？



北海道エネルギー政策を調査しての課題と考察

大規模な
バイオマス発電の限界

バイオマス発電は発電
と熱利用の両方を考慮

掛川市だけではなく
近隣市、団体との
ネットワークを確立

小規模発電所
地産地消

農業委員会との意見交換会（2017～2018継続討論）

●太陽光発電と農地について

現状 地域の同意無く設置、景観悪化

課題 条例、ガイドライン必要

成果 2018年ガイドライン作成、
2019年ガイドライン発表

●有害鳥獣対策

現状 2017.18年度イノシシ年間600頭捕獲

課題 捕獲後の処分、地区毎対応が違う

考察 補助金の増額、
統一した捕獲計画の確立



有害鳥獣対策

意見交換会や市民の強い要望により

2018年4月～

- ・ 補助金の増額
- ・ 有害鳥獣の処分費用は全量掛川市負担

2018年9月10日

- ・ 実施隊発足

掛川市職員10人による実施隊設置

今後は市内の有害鳥獣捕獲計画、わなの適正配置などを検討実行する

2019年 IOTを活用したセンサー付き檻予算化



再生可能エネルギー普及・研究 東海大学海洋学部調査（小規模バイオ発電）

- 2018年10月10日
 - ・ 小地区での地産地消の発電
小規模バイオマス発電
（雑草・木質チップ）
 - ・ ペレット製造
 - ・ シュタットベルケ
（公営新電力事業）



環境省環境計画課長 川又孝太郎氏講演

• 2018年10月22日

国が目指す姿

- 各地域が地域資源を活かし、自立・分散型の社会を形成

再生可能エネルギーの地域経済への効果

- 地産地消することで、雇用を生み、収入が入る

シュタットベルケ（公営新電力事業）

- 自治体が出資して電力会社を設立。
- 事業者は優先的にその電力を使用する。
- 自治体は利益を福祉や教育などに還元する。
- 人口減少、少子高齢化・・・自治体の公益事業参画



これからの掛川市エネルギーのあり方

1

大規模なバイオマス発電は推進せず、小地区での完結型の発電を考える

(地産地消)

2

再生可能エネルギーの推進

設置に関する

ガイドラインを作成する

3

木育を推進し、環境保全や温暖化対策等視点を変えて、エネルギー政策を推進する

4

新電力事業の研究・推進

シュタットベルケ



ご清聴有り難うございました。



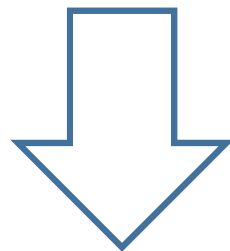
文教厚生委員会活動報告

～掛川市の待機児童の現状と対策～



掛川市の待機児童数：**46人**（平成30年4月1日現在）

※ただしこれは国定義の数字



隠れ待機児童を含めると...

161人

（平成30年4月1日現在）

平成30年度入園申込み状況

保育園入園申込者数	2,358人（前年比119人増）
認可保育園入所者数	2,197人
入所保留者数	161人（前年比 54人増）

待機児童161人の内訳

①育休延長 15人

②求職中 14人

③一時預かり 9人

④親族がみる 8人

計

46人 (国定義の待機児童)

⑤協働保育園(認可外) 36人

⑥幼稚園預かり保育利用 43人

⑦入所後求職予定 13人

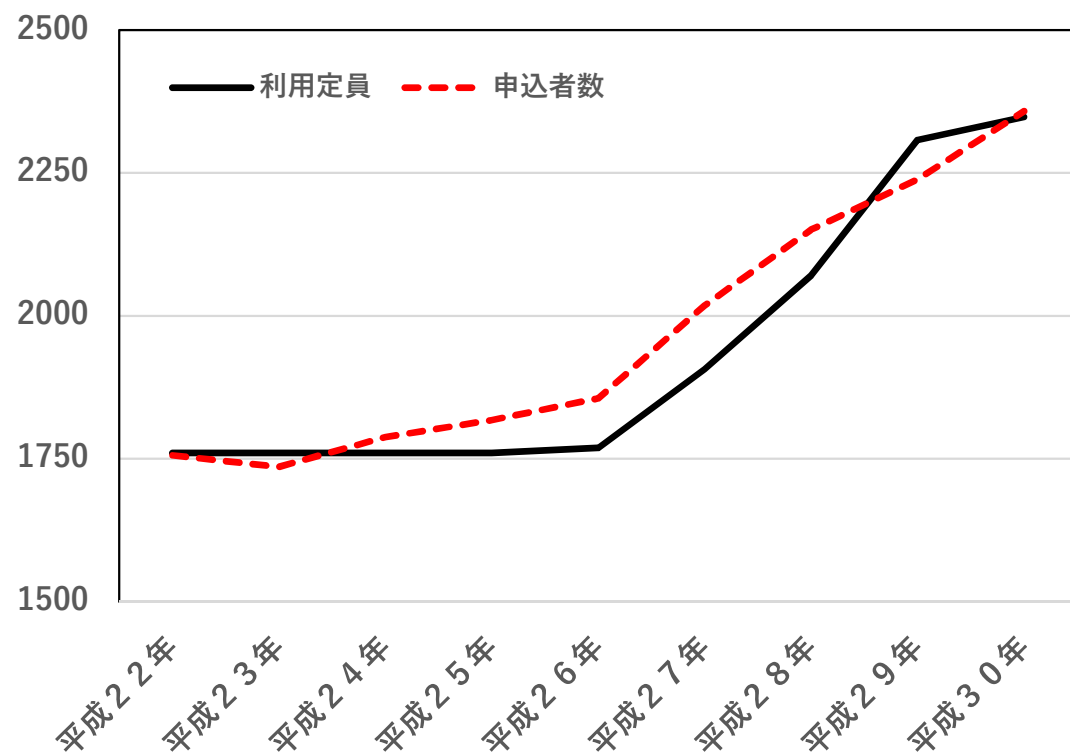
⑧保護者の私的理由 3人

⑨第3希望なし 20人

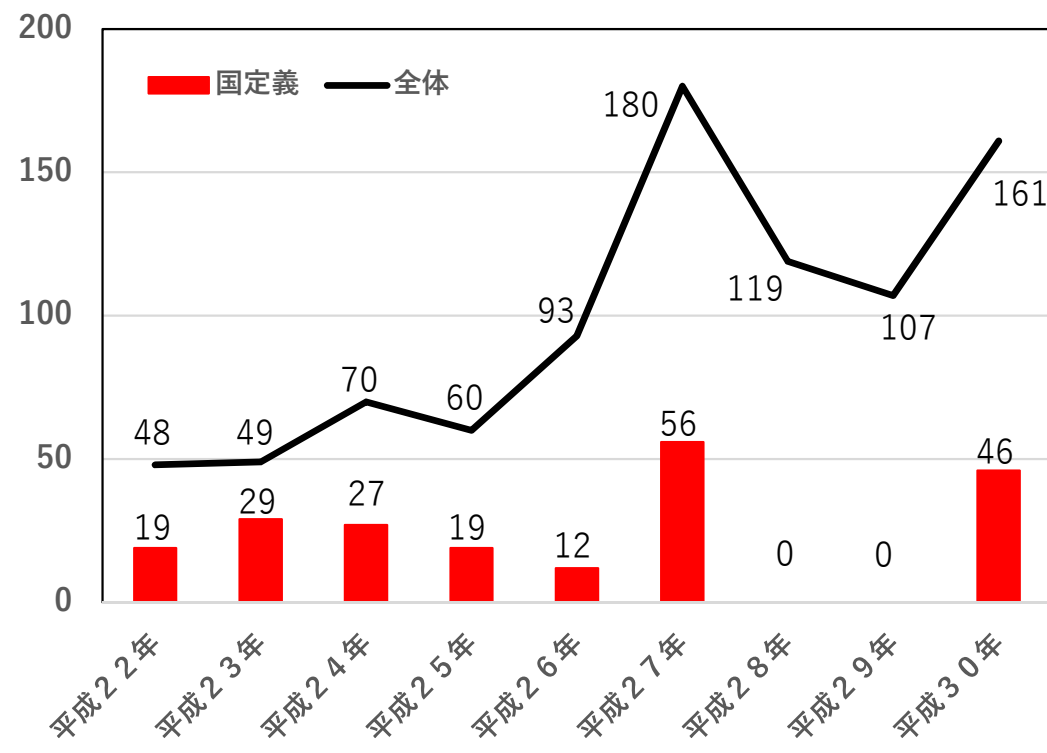
計

115人 (隠れ待機児童)

保育定員及び待機児童数の推移



利用定員と申込者数の推移



待機児童数の推移

平成30年度の待機児童対策

1. 三笠幼稚園、土方幼稚園の預かり保育の拡充
早朝 7:15 から預かり開始
夕方 18:00 まで預かり延長



2. 認可外保育施設や企業主導型保育施設等を認定保育園と同等の保育料となるよう助成

平成31年度へ向けての待機児童対策

1. すずかけっこ保育園(掛川第二小 横) 3~5歳児定員90人増設
2. 企業主導型保育施設の設置推進(4事業所、156人定員 *申請中)

ちょっと振り返ってみると

平成**27年**4月1日現在の待機児童数:56人

県内ワースト3 (1位 浜松市 2位 静岡市)

乳児保育園 すずかけっこ 開設

小規模保育所 7カ所 開設

* 小規模保育所:0~2歳児専用 定員は 6人~19人



約190人定員増

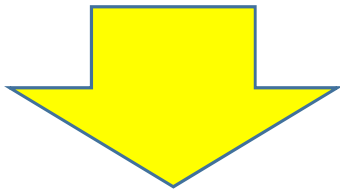
平成**28年**4月1日現在の待機児童数:0人

平成28年度 追加施設整備

認可保育所： あそび保育園（岡津地内）

認定こども園： とものもり（上屋敷）

* それぞれ定員120人



平成29年4月1日現在の

待機児童数： 0人



これでも、まだ施設が足りない？！
いったいどれだけ定員確保すればいいのか？？



全国の自治体共通の悩み

さらに追い打ちをかけるように・・・

- ・幼児教育・保育の無償化
- ・平成31年10月から消費税10%UP

無償化による影響がどのくらいあるのか？

文教厚生委員会の取組み ～市内現地調査～



子育てセンターとものもり
(掛川市上屋敷)



掛川あそび保育園(掛川市岡津)



カンガルーム掛川
(資生堂工場内)



文教厚生委員会の取組み ～県内現地調査～



島田市こども館



焼津市：子育てグループ活動

藤枝市：健康予防日本一藤枝プロジェクトの取り組み

若者就労支援『静岡方式』の支援方法

文教厚生委員会の取組み ～県外現地調査～

主な訪問先

平成29年度

- ・埼玉県 加須市(みつまた保育園)
- ・千葉県 松戸市(2017年子育てしやすいまちランキング1位)



みつまた保育園
(埼玉県加須市 H29年度)



平成30年度

- ・福岡県 福岡市(NPO フードバンク福岡)
- ・熊本県 熊本市(3年連続待機児童0)
- ・鹿児島県 姶良市(「子育て基本条例」制定)

文教厚生委員会の取組み2

“掛川で子育てし隊”と掛川市議会（文教厚生委員会）共催企画

『おはなし会mini ～掛川市議会議員と話そう～』

こちらから子育てママ・パパのところへ出向き、
それぞれのテーマごとにワークショップ形式で話し合い、
ママ・パパたちの本音を聞かせてもらいました。



文教厚生委員会の今後の取組み

事業の推進

- ・120人規模の保育施設新設(2020年4月開園目標)の推進
- ・企業との連携強化(近隣企業連携による共同保育事業)
- ・掛川流子育て応援事業「スキンシップのすすめ」の推進

新たな制度の提案

- ・保育士育成支援 掛川スタイル奨学金制度の創設提案
- ・保育所等退職者の生涯学習再雇用制度の創設提案 など



子供たちの笑顔のため、
子育てしやすい環境整備に努めてまいります。



ご清聴ありがとうございました。